

中部教育事務所だより

発行所 群馬県教育委員会事務局
中部教育事務所
発行人 酒井 暁彦
発行日 令和6年2月2日
〒371-0051 前橋市上細井町 2142-1
Tel(027)232-6511

【学校教育係 指導】

＜地区別人権教育研究協議会 吉岡町立明治小学校＞

10月27日(金)に吉岡町立明治小学校を会場にて、管内56校の人権教育担当の先生方に参加していたき、地区別人権教育研究協議会を実施しました。

明治小学校では、今年度の研修テーマである「持続可能な社会の創り手となる『考えて行動できる』児童」を基に、「子どもを主語にした授業づくり」をサブテーマとして、研修を進めました。まず、実態調査として、「相手の立場を考えて表現すること」や「意見が違ったときに折り合いをつけること」等の課題を職員で共有しました。そして、子供たちが「安心して学校生活を送り、自分の思いを表現し、折り合いをつけられるようにする」ために、下記の人権教育の視点を取り入れ、実践を行いました。

- 教師自身が自分の人権感覚を高めていく
- 学級で互いに認め合い、支え合う集団づくり

成果としては、常時的な活動において、子供たちが安心感をもって過ごせるように支持的風土づくりに取り組んだり、係活動や委員会活動において、他者と協働した活動を意図的に展開したりすることにより、子供たち一人一人がこの学校、このクラスの一員だという所属感を味わうことができました。

また、子供たちのよさを認め合う活動として、「なかよしの木」に取り組み、お互いの「がんばり」「よさ」「やさしさ」等を紙に記入し、伝え合っていくことで自己肯定感や自己有用感を高めることができました。さらに、書く内容も、友達のよさを見付ける視点を投げ掛けることにより、子供たちの気付きの質を高めることができました。

協議会当日は各学年計6授業を公開しました。友達のよさを伝え合い、子供たちが安心して発言できるような雰囲気づくりが見られました。また「いろいろなアイデアをつなげよう」「〇〇さんに聞いてみて」等、教師の言葉掛けにより、子供たちが自分の考えを自由に話している様子等、どの学年も温かい雰囲気の中で授業を行う様子が見られました。



＜よさを認め合う活動「なかよしの木」＞



＜ 公開授業の様子 ＞



＜ 授業研究会の様子 ＞

～協議会参加者の感想から～

- 小学一年生であっても、自分のよさに気付くことは嬉しいことであり、また、友達から伝えられると、なおさら嬉しいものであることに気付くことを教えていただきました。
- 何でも言い合える学校の風土づくりの大切さを、再認識できる素敵な授業を観ることができました。
- 教師の子供への対応の仕方が大変温かく、子供たちがいきいきと活動していました。当日の授業だけでなく、日頃の人権感覚の醸成がいかに大切かを見せていただきました。

人権を意識するような先生や子供同士の言葉掛け、温かい学級の雰囲気が「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めようとする態度」の育成につながることを参加された先生方と共有できた協議会となりました。

<教育 DX 推進アシスタントより 「学校の業務で感じたこと」>

山崎 和夫 教育DX推進アシスタント

初めてのアシスタント業務を5月から行いました。教育分野は初めての事で業務に不安がありましたが、リーダーや他のアシスタントのアドバイス、webの情報等を参考に、依頼された業務を処理することができました。授業以外の校務で作成する資料操作等を簡易化することで、校務の効率化のお役に立てることが多々あると感じました。先生方は多忙で会話する機会をなかなか得ることができず残念でした。



鷲野 知恵 教育DX推進アシスタント

校務のデジタル化・格差是正をテーマに巡回型で活動しております。お困りごとの解決だけでなく、アイデアを試してみたい、という御依頼も増えています。目的を明確にして無駄を省き、新たな価値を生み出そうと試行錯誤を重ねる先生方から強い熱意を感じております。基本的な校務のオペレーションを最適な方法で標準化することを意識しながら今後もお手伝いさせていただきます。



7名のアシスタントが小中学校を訪問しています。温かい御協力と受け入れに感謝申し上げます。アシスタントのバックグラウンドは様々です。教育業界は初めてという方が多いのですが、一般企業で長年の経験を積んでおり、そこで培ったExcelやWord等のスキルを活かし、校務負担を軽減させるツールを開発しています。管内全校を巡回し、お手伝いさせていただくことを目指して頑張っています。お手伝いができることがありましたら、どうぞお気軽にお知らせください。

大野 陽子 教育DX推進リーダー

【学校教育係 人事】



① 交通事故について ～車間距離 とりすぎることは ありません～

加害的な交通事故・交通違反が昨年度の47件をすでに超えています。事故原因は「前の車が出発したと思って発進したが、実際は止まっていたため追突してしまった。」「十字路で安全確認が不十分だった。」等自分の不注意からくるものが多くなっています。出勤途中に焦ってしまったり、退勤途中に疲れから周りへの注意が散漫になったりすることが事故や違反につながる事例もあります。一方で、気を付けていても起こってしまうこともあります。

「交通安全に気を付ける」という漠然としたものではなく、「信号で停止する時は前の車のタイヤが見える距離を保つ」「空いている道路でも法定速度で運転する」等、事故や違反を起こさない状況をつくるのが大切です。意図的に交通事故や違反を起こそうとしている人はいませんが、自分の不注意で事故を起こしてしまうかもしれないことをイメージし、未然防止を意識して、運転をしてください。

② SNS等の利用について ～学級の 指導を自分に あてはめて～

SNS等の利用については児童生徒や保護者と私的なやり取りを行わないなど、十分に注意しながら利用されていることと思います。一方で、SNSやインターネットに関するトラブルや事件は、全国的に増加し続けており、高額請求や詐欺等の消費者トラブル、なりすましや美人局、誹謗中傷等の犯罪に巻き込まれる例も報告されています。

SNS等の利用の仕方は、各学校で児童生徒にも指導していて、教職員の方々はそれらの危険性を十分理解していると思いますが、危険性を理解しているほど「自分は大丈夫」と油断してしまうことも考えられます。『弘法も筆の誤り』という言葉もありますので、自分自身のSNS等の利用について振り返ってみてはいかがでしょうか。